

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策04 市街地整備の充実	概ね適切

【参照：資料 - 33】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<b>【施策の環境変化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拡散型の都市構造に歯止めをかけ、機能的な生活拠点を造ることが求められています。</li> <li>・ 少子高齢化の進展により、駅等を中心としたコンパクトな市街地の整備が求められています。</li> <li>・ 中心市街地の活性化などの都市の再生が求められています。</li> <li>・ 駅周辺における市街地整備やバリアフリー化は着実に進んでいます。</li> </ul>	<p>「都市構造に歯止めをかけ」とあるが、「構造」に歯止めをかけるというのはおかしい。</p>	<p>表現について見直す。</p>
	<p>「バリアフリー化は着実に進んでいます」だと、自然に進んでいっているように読み取れる。「着実に進めてきました」とすべきである。</p>	
	<p>「駅等を中心としたコンパクトな市街地」とあるが、「駅等」というと、駅と別の物という意味になってしまうので、基本事業04の対象の欄で使っている「駅及び駅周辺」という用語の方がわかりやすいのではないか。</p>	
	<p>基本事業03の公園と、基本事業04の景観に関して、環境変化と課題に記載がない。基本事業の一つとして掲げている以上、ここに記載すべきである。</p>	
<b>【施策の課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市基盤施設の維持管理コストなど都市経営コストの増大が課題となっています。</li> <li>・ 自動車に依存した都市構造から、歩いて暮らせる都市構造への移行が課題となっています。</li> <li>・ 市街地の低利用地、未利用地の都市的土地利用及び土地利用転換をするための誘導策が求められています。</li> </ul>	<p>「都市経営コスト」とあるが、もう少し言い換えができないか。また、「都市的土地利用及び土地利用転換」も言葉が硬く、専門用語・行政用語であり市民にはわかりにくい。</p>	<p>わかりにくい表現について見直す。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
【意見・提言】	環境変化と課題の欄でも、他で使っている「まち」や「まちづくり」という表現をうまく使って記載した方が良い。全部ではないが、具体的なことを指さない一般的で大枠の話をするときには「まち」・「まちづくり」というやさしい用語を使い、具体的な話をするときには、正式な「市街地」や「都市開発」などの用語を使えば良い。江別市全体として他の報告書等も含めてどう表現すべきか統一していただきたい。

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策04 市街地整備の充実 基本事業01 江別の顔づくり	概ね適切

【参照：資料 - 34】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p><b>【事業の目的】</b> 都心地区の整備・充実を図り、より快適な市民生活と経済活動の集積に努めます。</p> <p><b>【対象】</b> 都心地区</p>	<p>目的と対象に「都心地区」とあるが「都心」というと人によって考えが異なるので、野幌駅周辺という表現の方が適切ではないか。</p>	<p>都心地区という表現だけではわかりにくいと思うので、「都心地区（野幌駅周辺）」というように、括弧書きで補足するなど表現について検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p><b>【事業の成果指標】</b> 中心市街地の店舗延べ床面積</p>	<p>延べ床面積が増えれば経済活動の活性化が図られたと言えるのか、疑問である。店舗数の方が適切ではないか。延べ床面積の数値はバックデータとしてはあった方が良いが、この報告書に指標として載せておくことの意味がわかりにくい。</p>

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策04 市街地整備の充実 基本事業02 計画的な土地利用の推進	適切

【参照：資料 - 34】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
	指摘等無し	

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策04 市街地整備の充実 基本事業03 安全で憩える公園の整備	概ね適切

【参照：資料 - 35】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p><b>【事業の達成状況】</b> 憩いの場としての公園満足度の指標はH22年度市民アンケート調査が未実施であることから未取得であるが、市民と協働で管理している公園数が6公園増加しており、このことは公園満足度の向上にも貢献しているものと推察でき、達成状況は上向きととらえています。</p>	<p>市民と協働で管理している公園数については記載があるが、協働で整備している公園についても記載すべきである。</p>	<p>毎年一か所、公園を再整備する際に、地域の自治会・住民の方を交えて、どういった公園にしていくのかという議論をワークショップ形式で行っており、次の年にその結果を現場に反映させている。こうした協働による公園の整備について、達成状況のところに加えて記載する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p><b>【事業の目的】</b> 市民との協働により公園再整備を進め、さらに市民管理の公園を増やします。また、安全で憩える公園を増加させます。</p>	<p>公園というのは様々な公的役割を果たしている。子ども達が憩うだけでなく、防災の面で役に立つこともある。地下に貯水槽を設けたインフラ整備のためという役割もある。そうした公園の役割を目的の中に文言として入れることで、管理や再整備に対する市民の理解が得られるのではないかと。</p> <p>また、公園は高齢者にとっても身近なコミュニケーションの場であり、あるいは保育として公園を使うことも大事になってくることを考えれば、「憩える公園」の中に、こうした福祉的役割も加えて、公園というのが市民にとっていかに必要な場所なのかを表現してほしい。そうすれば成果指標の二つ目にある「市民と協働で管理」していく意味合いが深まると思う。</p>
<p><b>【事業の成果指標】</b> 市民と協働で管理している公園数</p>	<p>全体の約3割を目標にしているということだが、こうして市民が地元の公園を3割も管理していることが伝われば、自分達の公園をもっと大事に使おうという意識の醸成ができるので、指標として表現できないか検討してほしい。</p>

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策04 市街地整備の充実 基本事業04 人にやさしく、わかりやすい街並みづくり	概ね適切

【参照：資料 - 35】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<b>【事業の目的】</b> 美しい都市景観づくりや施設のバリアフリー化を進め、人にやさしい施設、わかりやすく景観に配慮した街並みをつくります。また、駅及び駅周辺、特別特定建築物などの関連整備を図り、利便性の高い機能的なまちをつくります。	「特別特定建築物」というのはあまり聞き慣れない言葉なので、括弧書き等で補足すべき。	表現について検討する。